

平成29年度学生モニター会議について

1. 目的：

学生モニターは、本学の教育担当理事の要請に応じ、教育、学生生活支援及び就職支援等に関する取組に関して、学生の立場から建設的な意見、提案等を提示するものとする。

2. テーマ：

なぜ学生の学習時間は短いのか？

3. 開催日程等：

・プレアンケートの実施（6月上旬）

学生モニターの1日の時間の使い方や九大の教育改善に関する取組みの認知度・活用度について、Moodleを使って事前アンケートを実施。

・第1回学生モニター会議の開催【参加人数22名】

日 時 平成29年6月21日（水） 18：30～20：30

場 所 新中央図書館4F アクティブラーニングスペース

- 1（アイスブレイク）グループ内自己紹介
- 2（ミニ講義）九大生の学習時間について（中世古特任助教）
- 3（グループワーク）学習時間が短い理由についてグループワーク
- 4（全体共有）
 - まとめた内容を、班別に発表する。
 - 発表に対して意見交換を行う。

・ポストアンケートの実施（6月下旬）

第1回学生モニター会議の議論を踏まえ、学習時間が短い真の理由と対策についてMoodleを使って、アンケートを実施。

・第2回学生モニター会議の開催【参加人数19名】

日 時 平成29年7月19日（水） 18：30～20：30

場 所 センター1号館1階 第一会議室

- 1（ミニ講義）第1回学生モニター会議の復習、ポストアンケートについて（中世古特任助教）
- 2（グループワーク）学習時間が短い真の理由と対策について
- 3（全体共有）
 - まとめた内容を、班別に発表する。
 - 発表に対して意見交換を行い、提言案について盛り込むべき内容について情報共有する。

・理事への報告【参加人数7名】

日 時 平成29年8月8日（火） 14:00～15:30

場 所 椎木講堂4F 特別応接室

参加者

理事：丸野理事、玉上理事

学生：理学部B3（1名）、工学部B2（1名）、医学部B3（1名）、21世紀プログラムB2（1名）
理学府D1（1名）、システム情報科学府D2（2名）

教育改革企画支援室の中世古特任助教より、今年度の学生モニターの活動概要について、説明があったのち、代表学生2名がプレゼンテーション資料を基に、報告を行った。

報告では、学習時間が短い真の理由とその対策について、①大学側（授業の内容、指導方法、成績評価における課題）、②学生の姿勢（関心や目標の欠如への対応）、③その他（学習環境や留学生への配慮）の3つの観点から、グループワークやプレ・ポストアンケートの結果を踏まえて報告した。

報告後、引き続いて、理事と学生モニターの意見交換が行われ、学生の立場から大学教育への疑問や提案について積極的な意見が出された。理事からは、積極的に教員とコミュニケーションをとることや高校までの学びのスタイルからチェンジする必要があることなど、学生側の姿勢についても意見があった。また、留学生2名も参加していたため、海外の学生と日本人学生との意識の違いについても、議論が行われた。

最後に、教育改善に向けた取り組みの参考にすべく、報告内容を教育企画委員会等で共有することを確認し、報告会は終了した。



代表学生2名がプレゼンテーション資料を元に、報告を行った。



意見交換では、大学教育や学生の姿勢について、学部生・大学院生、留学生それぞれの立場から、意見を述べた。